

子ども虐待の臨床： 子と親へのケア

この子はどうしてこんなふるまいをするのだろうか？
どのように接すれば、この子も私も気持ち良くいられるだろうか？
虐待が子どもの発達にどんな影響を与えているのか、私たちはどんな
対応をすればいいのかを分かりやすくお話していただきます。

2009年2月22日(日)

13:30 ~ 16:30

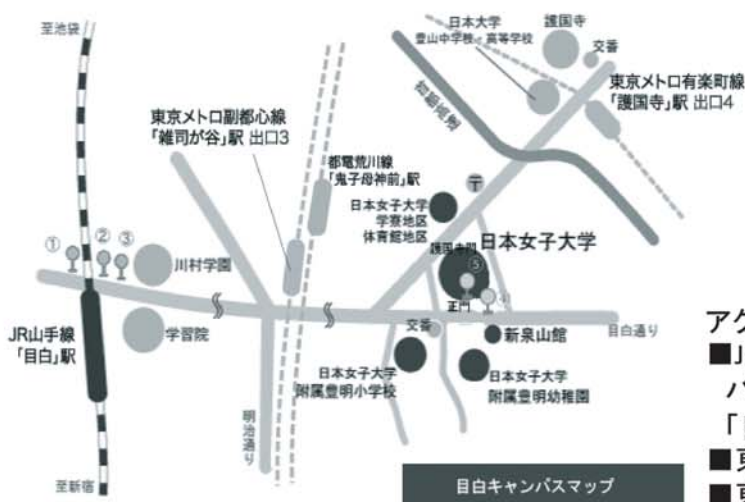
会場：日本女子大学目白キャンパス
百年館低層棟 505号室(5階)
定員：100名(先着申込順)



* 保育あります (定員10名先着順)

講師 杉山登志郎先生

児童精神科医で医学博士。現在、あいち小児保健医療総合センターの心療科部長兼保健センター長。日本における高機能自閉症、アスペルガー症候群研究の第一人者で、子ども虐待に関心を持つ。



アクセス

- JR山手線目白駅から徒歩約15分
- バス約5分(新宿駅西口・椿山荘行き都バス〈白61〉)
- 「目白駅前」乗車「日本女子大前」下車
- 東京メトロ副都心線雑司ヶ谷駅(3番出口)から徒歩約8分
- 東京メトロ有楽町線護国寺駅(4番出口)から徒歩約10分

【 問合せ先 】

NPO法人 里親子支援のアン基金プロジェクト
Tel 03-5840-9514 / Fax 03-5825-4296



アン基金プロジェクトは里親になろうとする人、里親、里親OB、里子、里子OBを支え、援助し、社会に里親制度を広めることを目的として活動しています。